

日本色彩学会協賛講演会報告

神作博先生講演会

色彩応用に関する概観：視認性、誘目性、可読性の研究を中心として

正会員 落合 信寿

去る2006年9月12日、早稲田大学人間総合研究センター主催、ならびに日本色彩学会ほか5学会の協賛により、早稲田大学国際会議場第三会議室において、日本色彩学会前会長の神作博先生(中京大学教授、放送大学客員教授)の講演会が、下記の要領にて開催された(司会は早稲田大学教授 齋藤美穂先生)。

日時：2006年9月12日(火) 14:00～15:30

会場：早稲田大学国際会議場 第三会議室

参加者：72名

主催：早稲田大学人間総合研究センター「嗜好に対する感性認知工学的研究」プロジェクト
「技術とアメニティの調和した人間行動システムの構築：感性からのアプローチ」プロジェクト
(研究代表者：早稲田大学 齋藤美穂教授)

協賛：日本色彩学会、日本心理学会、日本人間工学会、照明学会、日本応用心理学会

当日は、朝から雨が降り続くあいにくの天気であったが、定員80名程の会場に72名もの方々にご来場いただき、大変盛況な講演会となった。参加者は、大学・研究機関の研究者、民間企業の研究開発・デザイン部門の担当者から大学院生・学部生まで、実に幅広い層の方々にご参加いただいた。

ご講演者の神作博先生は、日本における色彩心理学の第一人者としてご活躍されており、日本色彩学会においても会長、副会長、東海支部長といった要職

を歴任されている。先生は、千葉大学文理学部(心理学専攻)で卒業後、防衛庁に入庁され、日本最初の航空宇宙医学研究機関である航空医学実験隊において、航空心理の研究に長らく携わられた。その後、中京大学文学部心理学科(現在は心理学部に改変)に教員として着任された。今日まで一貫して、応用心理学のお立場から、色彩、照明、交通、人間工学、産業、福祉など、現実場面の諸問題を扱う幅広い研究に取り組まれている。

本講演会では、神作先生がこれまで手掛けられた広範な研究課題の中でも、特に、色彩を対象にして精力的に取り組まれた色の視認性、誘目性、可読性の研究を中心に講演いただいた。

神作先生は、大変ご多忙な身であるにもかかわらず、本講演会のために21ページにわたる詳細な資料をご用意して下さった。この資料は、製本したものが講演会の配布資料として参加者に配られた。

90分という限られた時間では、先生のご研究の全容について詳しくお話いただくにはあまりに短すぎる感があるが、ご講演の中では、航空医学実験隊で所属当時に実施された飛行実験、海上訓練の模様や、色の誘目性の測定に用いられた実験刺激など貴重なカラースライドを拝見しながら、これまでの先生のご研究のあゆみを体験談を交えながらお話いただき、大変興味深く有意義な講演会となった。

(早稲田大学人間科学学術院)

